

11月19日(土)に近畿大学工業高等専門学校で「みえの現場・すごいやんかトーク大学編」を開催しました。

当日は、「新たな飛躍・発展を、名張にて～地域における高専生の活動から～」というテーマで、学生会や、ボランティアグループで活動する学生や、高専ロボットコンテスト、Honda エコマイレッジチャレンジなどに出場したグループから9名の学生と知事が意見交換を行いました。



#### (活動内容の紹介及び自己紹介)

最初に、参加した学生の自己紹介と自分たちの活動紹介がありました。当日会場には、“エコ・ラン”に出場した三輪車や、高専ロボコンに出場したロボットが展示され、知事が、実際に二足歩行ロボットが引くリアカーに試乗する場面もありました。



Honda エコマイレッジチャレンジ出場のエコカー

#### トーク参加者及び活動内容について

##### ○ ファシリテーター

総合システム工学科 奥田 昇也 教授

##### ● ボランティアグループ Good Job 総合システム工学科

コミュニケーションコース 5年 尾上 貴子  
電気電子コース 5年 中野 弘基

献血の啓発活動や障がい者スポーツ大会、地域の夏祭りやイベントなどの運営の手伝いなどの活動を行っている。今年は、東日本大震災の思い出戻し隊として、被災者の写真の修復などの活動を行った。

##### ● 学生会グループ

総合システム工学科

機械システムコース 5年 前地 陽介  
電気電子コース 5年 芝 和俊

学園祭を通じて、名張の地域住民の皆さんと近大高専をつなぐ活動を進めている。学園祭では、学校を開放して、各コースでの体験実習や小・中学生を対象とした大会など、地域の皆さんに楽しんでもらえるよう、企画、運営を行っている。

##### ● アイデア対決・高専ロボットコンテスト出場グループ

専攻科

生産システム工学専攻 1年 堀内 昌一  
総合システム工学科

機械システムコース 4年 小方 孝太  
コミュニケーションコース 4年 今町 弘希

NHKの「アイデア対決・高専ロボットコンテスト(ロボコン)」に出場するロボット製作を行っている。昨年は2足歩行ロボットで出場し、近畿地区大会でデザイン賞と特別賞を受賞した。

##### ● Honda エコマイレッジチャレンジ出場グループ

専攻科

生産システム工学専攻 1年 木戸口 晃之  
1年 栗原 正規

50ccの原付エンジンをベースにした車で1のガソリンでどれだけ走れるかを競う大会に出場しており、これまでに1あたり990kmを記録した。



2 足歩行ロボットがひくリアカーに試乗

### (三重のいいところ、残念なところ)

知事から三重県について、いいところと、もうちょっとがんばったほうがいいと思うところを教えてくださいとの問いかけに、「三重県にはおいしいものがたくさんあるのに、知名度がない。熊野古道は和歌山県にあると思われる。」「三重県南部には、歴史や観光資源もたくさんあるのに、PRが足りない」という意見や、「奈良の実家に帰る途中には、さんま寿司やゆめはり寿司などのお土産を買うお店がない」という意見が出されました。

また、「三重県は、北と南で方言や文化も違っていて、それがおもしろい」「小さい頃、山や川で遊ぶのが楽しかったが、学校の移転で名張市に来て、便利だけど自然が少ないので、子どもたちにとってこういう環境でいいのかと思う」という意見も出されました。他県出身の学生からは、「三重県には、松阪牛や伊勢えびなど地名がついている食べ物があることがすごい」といった意見も出されました。

### (活動を通じて感じたこと、将来の夢)

次に、それぞれの活動を通じて、地域の人たちと関わる中で感じていることについては、「子どもたちの理系離れが言われているが、ものづくりは日本の切り札だと感じているので、小さい子どもたちがものづくりに興味を持ってもらえるよう、そして将来は技術者になりたいと思う子どもたちが増えるような取組が必要ではないか。」「三重県には、鈴鹿や鳥羽にも高専があるので、そういうところが協力して『小・中学生のロボコン』などのイベントを通じて、高専やものづくりに興味を

もってもらえるようにしたい」「製造業などで、特に小さい工場だけだとすごい技術を持っているところの技術が受け継がれていかないと、日本全体の技術力が低下してしまうので、愛知県などと連携して何かやってもらえたらいい」といった意見が出されました。

また、将来の夢については、「IT起業家」「自分が作ったもので人が喜んでいる姿を見たい」

「小さい子どもたちがものづくりに興味をもてるようなおもちゃを製造したい」「障がい者にやさしい自動車の開発がしたい」「技術を継承してスペシャリストになりたい」「震災のときでも大丈夫な安全な車をつくりたい」など、具体的な思いが語られました。

### 知事から皆さんへのメッセージ

最後に知事からは、具体的な課題やヒントをたくさんもらったので、今後是非、政策の中で参考にしていきたいというコメントがありました。

また、学生の皆さんへ、実現したいという夢は日付を入れないと意味がないので、「いつまでにこうする、そのためにいつまでにこうする」ということを考えて、どんどん夢に向かって失敗を恐れずにやってほしい。自分の生活すらコントロールできない人は夢の実現なんて無理なので、是非毎日を大切にして、生活習慣を整えて、夢の実現に向けてがんばってほしいとのメッセージがありました。

